

## 第二期 - ①

### 守れ！イチモンジタナゴ！！プロジェクト報告書

開催日：平成28年5月21日（土）

時間：13時30分～15時

場所：噴水池横繁殖水槽，白川

参加人数：15名（事前申込21名のうち6名欠席）

運営スタッフ：釜鳴，高木，精華大学板倉ゼミ学生

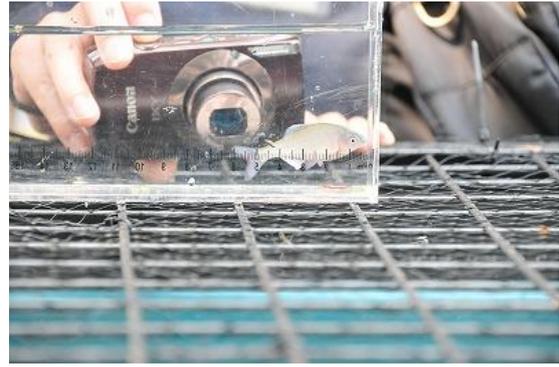
内容：・イチモンジタナゴの生体観察  
・白川での生物調査

今回の活動では，繁殖期に入ったイチモンジタナゴの観察や，動物園の近くに流れる白川の生物調査を行いました。



みなさん1ヶ月ぶりに見るイチモンジタナゴが，元気になっているか覗き込んでいます。この時期のオスは婚姻色が鮮やかになり，メスは二枚貝に産卵するために産卵管が伸びてきます。

前回，繁殖水槽に入れた二枚貝にイチモンジタナゴが産卵している可能性あることや，最近の様子をお話しました。



青とピンクの一文字模様が鮮やかになったオス

続いて、白川に生物調査に向かいます。白川にはイチモンジタナゴは生息していませんが、同じタナゴの仲間のヤリタナゴやカネヒラ、ヨシノボリ二枚貝の仲間など、いろんな生き物が生息しています。



白川



玉網とバケツを手に持ち、川に入ります。どんな生き物が見つかるか楽しみです。



石をよけてみたり，砂の多いところ探してみたりと思いつきの場所を探してみます。

ちなみに今回，白川で生物調査をするにあたって京都府から特別な許可を得て行っています。



この白い看板を掲示していました。



調査終了！

捕まえた生き物を集めて観察したり，名前を確認し記録します。

こんなにたくさんの生き物が見つかりました！！



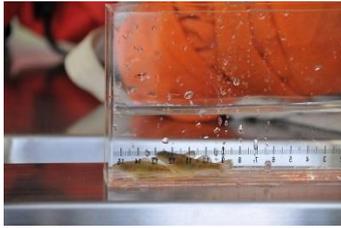
ゲンジボタル



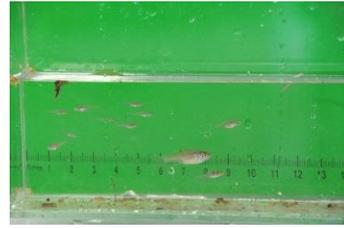
トンガリササノハガイなど



タウナギ



ヨシノボリ (もしかしたらドンコかも?)



カネヒラやカワムツの稚魚

	生物名	つかまえた数	動物園に持ち帰った数
魚類	カワムツ	20	0
	ヨシノボリ	3	3
	オイカワ	20	20
	カネヒラ	30	30
	ムギツク	1	1
	タウナギ	2	2
	カマツカ	1	0
甲殻類	テナガエビ	20	0
	ヌマエビ	10	0
貝類	カワニナ	33	33
	タテボシガイ (?)	19	19
	シジミ	50	0
	トンガリササノハガイ	2	2
昆虫類	ミズスマシ	20	0
	オオシマトビケラ	2	0
	ゲンジボタル	2	0
その他	シマイシビル	4	0

動物園に持ち帰った生物は、動物園の「京都の森」や「噴水池」に放しました。そしてタウナギはタンチョウの餌になりました。

今回の生物調査では、私たちの身近な川にもこんなに多くの生き物が生息していることを再発見できました。そして、何よりも参加者のみなさんが目を輝かせて生き物を探したり観察していたのがとても印象的でした。このような活動を通じて、すこしでも自然を身近に感じてもらえると嬉しいです。

来月の活動ではイチモンジタナゴの繁殖が順調に進み、稚魚が見られるといいですね！



この活動は、公益財団法人自然保護助成基金第 26 期（2015 年度）プロ・ナトゥーラ・ファンド助成による支援を受けて行われています。